

(エ) 主な業務実績

a 貸付業務

区 分	2 年 度	(元 年 度)
貸 付 け 件 数	18,523 件	5,874 件
金 額	301,362,557 千円	111,560,721 千円
貸付金回収等 (うち繰上償還)	133,523,350 千円 (57,920,824 千円)	106,146,200 千円 (21,501,059 千円)
(うち貸付金償却)	(1,140,689 千円)	(1,107,526 千円)
年度末貸付金残高 件 数	59,034 件	50,898 件
金 額	1,031,951,471 千円	864,112,264 千円

上記のうち民間金融機関のリスク管理  
債権の開示基準を参考に公庫において  
開示している債権

破 綻 先 債 権	318,435 千円	657,469 千円
延 滞 債 権	22,345,943 千円	14,624,671 千円
3 か 月 以 上 延 滞 債 権	—	47,436 千円
貸 出 条 件 緩 和 債 権	36,014,494 千円	30,504,899 千円
計	58,678,873 千円	45,834,476 千円

〔貸倒引当金 10,766,451 千円 7,781,035 千円〕  
(注) 貸倒引当金に計上できる金額は、一般に公正妥当と認められる企業会計の慣行に従い、  
発生の可能性が高い将来の損失額を合理的に見積もった額 107 億 6645 万余円の範囲内と  
されている。

b 出資業務

区 分	2 年 度	(元 年 度)
出 資 会 社 数	5 社	5 社
件 数	5 件	5 件
金 額	215,875 千円	1,072,808 千円
年度末出資金残高 会 社 数	59 社	58 社
件 数	75 件	74 件
金 額	7,608,876 千円	7,473,000 千円

(2) 株式会社日本政策金融公庫

この会社は、一般の金融機関が行う金融を補完することを旨としつつ、国民一般、中小企業者及び農林水産業者の資金調達を支援するための金融の機能を担うとともに、内外の金融秩序の混乱又は大規模な災害、テロリズム若しくは感染症等による被害に対処するために必要な金融を行うほか、当該必要な金融が銀行その他の金融機関により迅速かつ円滑に行われることを可能とし、もって国民生活の向上に寄与することを目的として設立されたものである。その資本金は、2年度末現在で6兆9902億0170万円となっている。

同会社の会計は、国民一般向け業務、農林水産業者向け業務、中小企業者向け融資・証券化支援保証業務、中小企業者向け証券化支援買取業務、信用保険等業務、危機対応円滑化業務及び特定事業等促進円滑化業務の7勘定に区分して経理されている。

同会社の勘定別の2年度の収入支出決算、損益、借入金等及び主な業務実績は次のとおりである。

ア 国民一般向け業務(国民一般向け業務勘定)

(ア) 収入支出決算

収 入	収入済額(千円)		
2年度	136,283,076		
元年度	138,479,653		
支 出	支出予算現額(千円)	支出済額(千円)	不用額(千円)
2年度	134,625,558	77,361,963	57,263,594
元年度	88,610,402	73,152,319	15,458,082

不用額の主なものは、支払利息(支出予算現額 447 億 3074 万余円)の 410 億 6235 万余円、業務諸費(同 250 億 2658 万余円)の 51 億 0074 万余円及び超過勤務手当(同 80 億 8670 万余円)の 39 億 6181 万余円である。

(イ) 損 益

科 目	2年度(千円)	元年度(千円)
経常収益	135,840,469	138,257,493
うち貸出金利息	114,308,652	112,610,393
経常費用	290,370,205	152,019,759
うち借入金利息	3,212,579	3,821,827
特別利益	49,884	98,318
特別損失	152,251	310,417
当期純損失	154,632,104	13,974,365
(損失金の処理)		
繰越利益剰余金として整理	△ 154,632,104	△ 13,974,365
(繰越利益剰余金)	(△ 662,001,194)	(△ 507,369,089)

(ウ) 借 入 金 等

区 分	2年度末(千円)	元年度末(千円)
借入金残高(財政融資資金等)	10,513,211,000	5,753,200,000
社債発行残高	680,311,130	650,416,476

(エ) 主な業務実績

区 分	2 年 度	(元 年 度)
貸 付 け 件 数	958,966 件	374,558 件
金 額	9,164,025,823 千円	2,146,393,990 千円
貸 出 金 回 収 等 金 額	3,477,164,294 千円	2,123,223,742 千円
(うち貸出金償却)	(61,580,939 千円)	(60,832,572 千円)
年度末貸出金残高 件 数	2,431,029 件	2,066,487 件
金 額	12,720,479,188 千円	7,033,617,660 千円

上記のうちリスク管理債権の状況

破 綻 先 債 権	4,192,742 千円	4,944,358 千円
延 滞 債 権	116,297,759 千円	104,517,097 千円
3 か 月 以 上 延 滞 債 権	53,893 千円	30,413 千円
貸 出 条 件 緩 和 債 権	389,568,801 千円	414,525,662 千円
計	510,113,196 千円	524,017,531 千円

貸 倒 引 当 金 282,528,149 千円 117,813,425 千円

(注) 貸倒引当金は、破綻先、実質破綻先の債務者に係る債権については、債権額から担保の処分可能見込額等を控除した額を計上している。また、破綻懸念先の債務者に係る債権については、債権額から担保の処分可能見込額等を控除し、その残額のうち債務者の支払能力を総合的に判断して必要と認める額を計上している。上記以外の債務者に係る債権については、過去の一定期間における貸倒実績率等に基づき算出した額を計上している。

イ 農林水産業者向け業務(農林水産業者向け業務勘定)

(ア) 収入支出決算

収 入	収入済額(千円)		
2年度	54,459,857		
元年度	44,603,748		
支 出	支出予算現額(千円)	支出済額(千円)	不用額(千円)
2年度	47,153,166	35,795,976	11,357,189
元年度	44,682,130	37,246,554	7,435,575

不用額の主なものは、支払利息(支出予算現額 267 億 4501 万余円)の 78 億 8792 万余円及び業務委託費(同 47 億 8963 万余円)の 13 億 7004 万余円である。

(イ) 損 益

科 目	2年度(千円)	元年度(千円)
経常収益	49,931,530	43,287,700
うち貸出金利息	23,611,321	25,898,227
経常費用	49,905,661	43,239,459
うち借入金利息	15,673,515	17,445,217
特別利益	—	99
特別損失	25,868	48,842
当期純利益(△ 当期純損失)	—	△ 501
(損失金の処理)		
翌年度に利益準備金を取り崩して整理	—	501
(利益準備金)	(2,642,210)	(2,642,711)

(ウ) 借 入 金 等

区 分	2年度末(千円)	元年度末(千円)
借入金残高(財政融資資金等)	2,812,074,977	2,487,046,115
社債発行残高	224,984,466	259,981,443

(エ) 主な業務実績

区 分	2 年 度	(元 年 度)
貸 付 件 数	24,172 件	14,838 件
金 額	705,874,920 千円	483,988,772 千円
貸 出 金 回 収 等 (うち貸出金償却)	392,229,887 千円 (2,893,019 千円)	384,953,750 千円 (2,369,219 千円)
年度末貸出金残高	168,241 件 3,416,516,497 千円	159,737 件 3,102,871,464 千円

上記のうちリスク管理債権の状況

破綻先債権	641,055 千円	1,273,463 千円
延滞債権	77,425,556 千円	53,539,703 千円
3か月以上延滞債権	320,358 千円	720,708 千円
貸出条件緩和債権	68,770,383 千円	19,183,616 千円
計	147,157,354 千円	74,717,492 千円

(注) 貸倒引当金は、破綻先、実質破綻先の債務者に係る債権については、債権額から担保の処分可能見込額等を控除した額を計上している。また、破綻懸念先の債務者に係る債権については、債権額から担保の処分可能見込額等を控除し、その残額のうち債務者の支払能力を総合的に判断して必要と認める額を計上している。上記以外の債務者に係る債権については、過去の一定期間における貸倒実績率等に基づき算出した額を計上している。

ウ 中小企業者向け業務(中小企業者向け融資・証券化支援保証業務勘定、中小企業者向け証券化支援買取業務勘定)

(ア) 収入支出決算

収 入	収入済額(千円)		
2年度	81,449,282		
元年度	81,694,246		
支 出	支出予算現額(千円)	支出済額(千円)	不用額(千円)
2年度	84,167,317	31,730,264	52,437,052
元年度	44,459,536	32,130,375	12,329,160

不用額の主なものは、支払利息(支出予算現額499億4025万余円)の448億3368万余円、業務諸費(同85億5304万余円)の18億3773万余円及び社債発行諸費(同16億3057万余円)の13億2610万余円である。

(イ) 損 益

a 中小企業者向け融資・証券化支援保証業務勘定

科 目	2年度(千円)	元年度(千円)
経常収益	80,698,716	80,812,609
うち貸出金利息	65,095,635	64,921,604
経常費用	232,949,704	84,799,582
うち借入金利息	3,285,751	4,096,553
うち社債利息	1,120,042	1,572,823
特別利益	—	6,087
特別損失	94,070	64,680
当期純損失	152,345,057	4,045,566
(損失金の処理)		
繰越利益剰余金として整理	△ 152,345,057	△ 4,045,566
(繰越利益剰余金)	(△ 461,963,170)	(△ 309,618,113)

b 中小企業者向け証券化支援買取業務勘定

科 目	2年度(千円)	元年度(千円)
経常収益	724,675	682,075
うち有価証券利息配当金	231,527	225,079
経常費用	573,213	529,074
当期純利益	151,462	153,000
(利益金の処理)		
翌年度に利益準備金として積立て	75,731	76,500
翌年度に国庫へ納付	75,731	76,500
(利益準備金)	(424,694)	(348,194)

(ウ) 借 入 金 等

a 中小企業者向け融資・証券化支援保証業務勘定

区 分	2年度末(千円)	元年度末(千円)
借入金残高(財政融資資金等)	5,846,249,100	3,109,411,100
社債発行残高	499,049,312	470,077,449

b 中小企業者向け証券化支援買取業務勘定

区 分	2年度末(千円)	元年度末(千円)
社 債 発 行 残 高	21,000,000	30,000,000

(エ) 主な業務実績

a 中小企業者向け融資・証券化支援保証業務勘定

区 分	2 年 度	(元 年 度)
貸 付 件 数	56,374 件	19,645 件
金 額	4,564,806,600 千円	1,147,409,180 千円
貸 出 金 回 収 等 金 額 (うち貸出金償却)	1,532,139,749 千円 (23,578,452 千円)	1,275,078,176 千円 (25,810,465 千円)
年度末貸出金等残高 件 数	153,328 件	127,361 件
金 額	8,116,484,584 千円	5,083,817,733 千円
上記のうちリスク管理債権の状況		
破 綻 先 債 権	3,817,666 千円	2,943,792 千円
延 滞 債 権	681,051,684 千円	451,356,596 千円
3 か 月 以 上 延 滞 債 権	—	—
貸 出 条 件 緩 和 債 権	109,933,789 千円	71,802,229 千円
計	794,803,140 千円	526,102,619 千円
貸 倒 引 当 金	474,118,811 千円	302,295,219 千円
(注) 貸倒引当金は、破綻先、実質破綻先の債務者に係る債権については、債権額から担保の処分可能見込額等を控除した額を計上している。また、破綻懸念先の債務者に係る債権については、債権額から担保の処分可能見込額等を控除し、その残額のうち債務者の支払能力を総合的に判断して必要と認める額を計上している。上記以外の債務者に係る債権については、過去の一定期間における貸倒実績率等に基づき算出した額を計上している。		

b 中小企業者向け証券化支援買取業務勘定

区 分	2 年 度	(元 年 度)
貸 付 債 権 元 本 件 数	801 件	1,807 件
金 額	17,004,000 千円	33,232,000 千円

エ 信用保険等業務(信用保険等業務勘定)

(ア) 収入支出決算

収 入	収入済額(千円)		
2 年 度	257,557,002		
元 年 度	197,402,782		
支 出	支出予算現額(千円)	支出済額(千円)	不用額(千円)
2 年 度	648,048,211	220,911,066	427,137,144
元 年 度	405,464,618	269,001,564	136,463,053

不用額の主なもの、保険金(支出予算現額 6149 億 4608 万余円)の 4032 億 6221 万余円及び保険費に係る賠償償還及払戻金(同 274 億 4990 万余円)の 227 億 0669 万余円である。

(イ) 損 益

科 目	2 年度(千円)	元年度(千円)
経常収益	201,636,307	195,366,594
うち保険料	190,561,797	122,704,710
経常費用	920,455,547	197,756,140
うち保険金	211,683,865	261,285,244
うち回収金	△ 65,056,822	△ 71,944,593
うち保険契約準備金繰入額	763,687,277	—
当期純損失	718,819,239	2,389,545
(損失金の処理)		
翌年度に利益準備金を取り崩して整理	286,257,181	2,389,545
(利益準備金)	(286,257,181)	(288,646,727)
翌年度に資本準備金を取り崩して整理	432,562,058	—
(資本準備金)	(3,503,984,022)	(2,052,284,022)

(ウ) 主な業務実績

中小企業信用保険

区 分	2 年 度	(元 年 度)
保 険 関 係 成 立 件 数	1,856,543 件	640,293 件
保 険 価 額	33,210,644,536 千円	8,324,339,940 千円
保 険 金 支 払 件 数	26,396 件	35,342 件
金 額	211,683,865 千円	261,259,970 千円
支 払 保 険 金 等 回 収 金 額	64,986,953 千円	71,841,411 千円

オ 危機対応円滑化業務(危機対応円滑化業務勘定)

(ア) 収入支出決算

収 入	収入済額(千円)		
2 年度	20,254,320		
元年度	10,659,587		
支 出	支出予算現額(千円)	支出済額(千円)	不用額(千円)
2 年度	494,425,593	22,022,122	472,403,470
元年度	62,841,659	24,299,024	38,542,634

不用額の主なものは、補償金(支出予算現額 2190 億 3465 万余円)の 2089 億 2779 万余円、支払利息(同 1961 億 1557 万余円)の 1895 億 4756 万余円及び利子補給金(同 546 億 7470 万余円)の 496 億 9287 万余円である。

(イ) 損 益

科 目	2 年度(千円)	元年度(千円)
経常収益	10,139,428	11,251,411
うち貸出金利息	6,576,635	8,078,081
経常費用	21,769,552	20,627,982
うち借入金利息	6,575,506	8,078,081
当期純損失	11,630,124	9,376,570
(損失金の処理)		
繰越利益剰余金として整理	△ 11,630,124	△ 9,376,570
(繰越利益剰余金)	(△ 265,192,801)	(△ 253,562,677)

(ウ) 借入金等

区 分	2年度末(千円)	元年度末(千円)
借入金残高(財政融資資金)	4,420,649,380	1,327,740,000
社債発行残高	150,273,463	—

(エ) 主な業務実績

区 分	2年度	(元年度)
ツーステップ・ローン 貸付け等	3,549,472,380 千円	35,000,000 千円
貸出金回収金額	306,563,000 千円	522,572,000 千円
年度末貸出金残高金額	4,570,649,380 千円	1,327,740,000 千円
損害担保引受承諾額 貸付け等	2,283,361,767 千円	940,738 千円
補償金支払額金額	10,106,859 千円	13,098,823 千円
支払補償金回収金額	1,231,251 千円	2,706,340 千円
年度末貸出金残高のうちリスク管理債権の状況		
破綻先債権	—	—
延滞債権	—	—
3か月以上延滞債権	—	—
貸出条件緩和債権	—	—
計	—	—
貸倒引当金	—	—

(注) 貸倒引当金は、破綻先、実質破綻先の債務者に係る債権については、債権額から担保の処分可能見込額等を控除した額を計上している。また、破綻懸念先の債務者に係る債権については、債権額から担保の処分可能見込額等を控除し、その残額のうち債務者の支払能力を総合的に判断して必要と認める額を計上している。上記以外の債務者に係る債権については、過去の一定期間における貸倒実績率等に基づき算出した額を計上している。

カ 特定事業等促進円滑化業務(特定事業等促進円滑化業務勘定)

(ア) 収入支出決算

収 入	収入済額(千円)		
2年度	237,174		
元年度	293,504		
支 出	支出予算現額(千円)	支出済額(千円)	不用額(千円)
2年度	1,275,377	236,720	1,038,656
元年度	1,742,618	293,528	1,449,089

(イ) 損 益

科 目	2年度(千円)	元年度(千円)
経常収益	216,114	273,960
うち貸出金利息	140,961	198,831
経常費用	227,508	286,711
うち借入金利息	140,961	198,831
当期純損失	11,393	12,751
(損失金の処理)		
繰越利益剰余金として整理	△ 11,393	△ 12,751
(繰越利益剰余金)	(△ 89,349)	(△ 77,955)

(ウ) 借 入 金

区 分	2年度末(千円)	元年度末(千円)
借入金残高(財政融資資金)	121,647,000	132,977,000

(エ) 主な業務実績

区 分	2 年 度	(元 年 度)
ツーステップ・ローン 貸 付 け	—	100,000,000 千円
貸 出 金 回 収 金 額	11,330,000 千円	11,726,000 千円
年 度 末 貸 出 金 残 高 金 額	121,647,000 千円	132,977,000 千円
上記のうちリスク管理債権の状況		
破 綻 先 債 権	—	—
延 滞 債 権	—	—
3 か 月 以 上 延 滞 債 権	—	—
貸 出 条 件 緩 和 債 権	—	—
計	—	—
〔貸 倒 引 当 金〕	—	—

(注) 貸倒引当金は、破綻先、実質破綻先の債務者に係る債権については、債権額から担保の処分可能見込額等を控除した額を計上している。また、破綻懸念先の債務者に係る債権については、債権額から担保の処分可能見込額等を控除し、その残額のうち債務者の支払能力を総合的に判断して必要と認める額を計上している。上記以外の債務者に係る債権については、過去の一定期間における貸倒実績率等に基づき算出した額を計上している。

(3) 株式会社国際協力銀行

この会社は、一般の金融機関が行う金融を補完することを旨としつつ、我が国にとって重要な資源の海外における開発及び取得を促進し、我が国の産業の国際競争力の維持及び向上を図り、並びに地球温暖化の防止等の地球環境の保全を目的とする海外における事業を促進するための金融の機能を担うとともに、国際金融秩序の混乱の防止又はその被害への対処に必要な金融を行い、もって我が国及び国際経済社会の健全な発展に寄与することを目的として設立されたものである。その資本金は、2年度末現在で1兆9638億円となっている。

同会社の会計は、一般業務及び特別業務の2勘定に区分して経理されている。

同会社の2年度の収入支出決算、損益、借入金等及び主な業務実績は次のとおりである。

(ア) 収入支出決算

収 入	収入済額(千円)		
2 年 度	412,008,511		
元 年 度	630,030,436		
支 出	支出予算現額(千円)	支出済額(千円)	不用額(千円)
2 年 度	1,002,509,394	350,263,235	652,246,158
元 年 度	1,042,984,766	540,543,457	502,441,308

不用額の主なものは、支払利息(支出予算現額9721億2670万余円)の6446億2600万余円、社債発行諸費(同55億5996万余円)の36億1677万余円及び旅費(同17億6776万余円)の13億6422万余円である。